富士山クラブ

2022年度
活動報告書

目　次

●環境保全　3～8
清掃活動
特定外来植物駆除活動
森づくり活動
自然体験・教育活動

●調査研究・政策提言　9～11
富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策事業
環境意識調査（吉田口五合目・ふじさんパーキング）
富士山麓のトレイル活用地域包括体験事業
インターン受入れ

●ネットワーク　11

●富士山の日フォーラム・広報　12

●休眠預金等活用事業　13

●活動実績一覧　14

●寄付・支援一覧　15

※表紙写真：©毎日新聞社　竹内紀臣記者撮影(2022年11月19日)

ごみゼロAIエコパトロール事業の開始と清掃活動の実施

　新事業として「ごみゼロAIエコパトロール」を開始し、ごみの調査・パトロール、およびAIを活用したごみの分析について、従来の清掃活動と併せて定期的に行いました。
　富士山北麓地域では、ここ数年、国道沿いでのポイ捨てごみが目立つようになりました。これまで、ごみについてインバウンドによって発生していたとも考えられていました。しかしながら、このコロナ禍を経て、外国人および観光客の流入がほぼ途絶えた状態で明らかに道路沿いのごみが減少に向かわず、増加したことにより、ごみの投棄者が明確になってきたところです。
　現状を把握し、ごみが出ない、出るごみを減らす、ごみではなく資源として循環させる、持続可能な観光資源として富士山の自然環境保全のために今後の継続した活動につなげていきます。なお、清掃活動は8回で902キロ回収、ごみパトロールは11回実施しました。

紹介WEBSITE　https://fujisan.jp/gomiAI/

【一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 助成金】
【一般社団法人 関東地域づくり協会 助成金】
【公益財団法人 粟井英朗環境財団 助成金】

山梨県富士山クリーンアップ事業

　2014年から取り組んでいる不法投棄現場（鳴沢村焼間地区）での、産業廃棄物について掘り起こし・ごみ分別回収作業も9年目となりました。
　2022年度は週末に天候が安定しないことが多く、また、近年の気温上昇により真夏日が多く活動に適した時期が短くなりつつあることも影響し、木陰のない当地での活動が見送られることも多くなってきました。その中でも本年、現場での作業は6回、6,250キロの産業廃棄物の撤去を行い、同現場での総撤去量は累計で合計95,545キロとなりました。

【山梨県富士山クリーンアップ事業　補助金】

ぐるり富士山風景街道一周清掃2022

企業、市民、自治体、官公庁らが参加し、環境保全・景観保全活動を行う「ぐるり富士山風景街道一周清掃」は、10月15日に開催しました。 今年で8回目となる大規模な一斉合同清掃ですが、本年は静岡との2か所同時開催ではなく、山梨の現場に両県集まっての清掃活動となりました。

約80名の各機関やボランティアらの協力により、1日で340キロものごみを回収することができました。現場のリアルなごみの散乱状況を各管理運営・関係機関の方々にも体験・実践していただける貴重な機会です。

2023年度も官民一体となった地道な草の根活動のため、引き続き開催を予定しています。

【一般社団法人関東地域づくり協会 助成金】
【富士急行株式会社 協賛】

コロナ禍3年目の2022年は、感染症対策をしながら、企業・学校など、団体での清掃活動も徐々に再開しました

特定外来種駆除活動

　河口湖アレチウリ一掃作戦は、開始10年目となりました。発芽生育の早い北岸での活動を主として実施し、秋口には南岸（富士山側）での実施も実現しています。手もしくは手持ちの道具を使って根っこからの抜き取りをしています。今後も、湖畔を営巣地とする生物の保護、景観保全、開花期のスズメバチの危険回避、周辺への生育エリア拡大防止など、様々な取り組みを進めていきます。2022年度は定例活動を8回実施、企業団体学校との活動で4回実施、計12回実施し、ボランティア195人、1150.4kgの駆除となりました。

【2021年度クラウドファンディング 寄附金】
【山梨県特定外来生物防除事業費 補助金】
【河口湖アレチウリ一掃作戦実行委員会】

　富士スバルライン五合目での国内外来種（セイヨウタンポポやオオバコなど）の防除活動を行政以外の団体として初めて、8月に行いました。麓では一般的な植物も、登山者や観光客の靴底等に付着して富士山体に持ち込まれ、今後温暖化の影響などで生育条件が整えば爆発的な繁茂を招く可能性もあるため、早い段階での防除活動が必要となります。今後も各所と連携して継続実施する予定です。2022年度は1回実施、ボランティア21人、回収植物6種計28.9kgの駆除となりました。

【山梨県富士山科学研究所 受託事業】

　修学旅行で富士北麓を訪れ、はじめてアレチウリの駆除活動に取り組んでくださった千葉県の中学生に聞いたところ、始める前には「めんどくさそう」「暑いしやる気ない」「虫が嫌」「やりたくない」「雑草抜に興味ない」とほとんどネガティブなイメージだったのが、活動後には「色んな意味で楽しかった」「植物見分けられた瞬間嬉しかった」「つらかった」「宝探しみたい」「いっぱいとって達成感があった」「役に立って楽しかった」「自然を守れてよかった」等、ささやかですがポジティブな感想に変化してたことは、とても嬉しくありがたかったです。
　すでに日本全国に分布しているアレチウリ、今後も河口湖での活動をきっかけに、1人でも多くの方に見分ける目と駆除の仕方を習得していただければと思います。

奥山の森づくり、里山の森づくり

富士山の中腹、標高約1,200m付近の西臼塚を「奥山」エリア、麓の富士宮市北山地区及び粟倉地区を「里山」エリアと位置付け、それぞれの立地、環境、目的に合わせた森づくり活動を展開しています。子どもたちや若い世代をはじめ日常で自然に触れる機会の少ないみなさんにこの活動での体験を通し、森や自然の楽しさ素晴らしさを知っていただくこと、守り育む心をもっていただくことも大きな目的の一つです。

大学のボランティア活動や企業のCSR・社員研修の一環としてのご協力や、主催事業として児童施設の子ども達の受入れや森林体験イベント開催等を行いました。

【COSMOエコ基金 助成金】

しずおか未来の森づくりサポーター制度　アサヒ飲料の森づくり

アサヒ飲料株式会社富士山工場のご支援・協働のもと取り組みを進めています。「植樹で終わらない森づくり」として、年間を通じた各作業への社員のみなさまのご参加、環境教育や体験の場としての運用と、新たなモデルケースとしても展望しています。今年度も、植樹素材を富士宮市および住友林業より提供いただくなど、地域ぐるみの活動としても進めています。

令和4年山の日記念環境教育プログラム
「山に登ろう in 富士山北麓　三ツ峠登山」

山の日（8月11日）を記念した環境教育プログラムを環境省の受託事業として企画、 2022年6月25日に実施しました。三つ峠登山を楽しみながら、三つ峠山荘主人の中村光吉さん、及び富士山生物多様性研究所の渡邊通人さんを講師に迎え、種の保存法により特定国内希少動植物種に指定されているアツモリソウの観察と保護の取り組みのお話を聞きました。通常はアツモリソウ保護対策のため立ち入ることのできない保護柵内で、長年の地域の皆さんやボランティアによる保護活動で、盗掘などで絶滅の危機にさらされたアツモリソウの生育が回復しつつあるのを、間近で花を観察しながら、学ぶことができました。

また鹿の食害により単一化してしまった植生の回復のため、テンニンソウ駆除のボランティア活動を行いました。

【環境省富士五湖管理官事務所　受託事業】

Green Gift 地球元気プログラム
「富士川清掃in山梨 ラフティング＆クリーンナップ」

海ごみやマイクロプラスチック問題を学習テーマとして取り上げ、山梨県から静岡県駿河湾に流れる富士川(身延町エリア）で、ラフティングを楽しみながら、川岸や川面に浮かぶプラスチックごみのクリーンアップ活動を2022年7月23日、実施しました。山梨県内の親子が参加、ラフティングガイドさんから川ごみの現状についてお話を聞き、川から回収したごみは45リットルごみ袋15個分、軽トラック満杯になりました。

【Yama・P(山梨県マイクロプラスチック削減プロジェクト)構成団体　受託事業】

富士山研修・オンライン講座

　早稲田大学国際学生寮に暮らす留学生たちを対象にした富士山研修を8月1日から5日間のプログラムを組んで、企画・コーディネートし、実施しました。
　事前に全寮生を対象にした、富士山の環境課題についてオンライン講座を行い、選抜された学生が富士山研修に参加。富士山科学研究所での専門家との地域課題のディスカッション、外来種駆除ボランティア活動、青木ヶ原樹海トレッキングやほうとう作り体験のほか、地元の産業である富士吉田市織物工場を見学、また織られた生地を使って作成したオリジナル御朱印帳を持って、全員で富士山頂に立ちました。

【早稲田大学レジデンスセンター　受託事業】

　子どもたちを対象にしたネイチャーウォークやトレッキングなどのフィールド体験活動も再開しました。コロナ禍で活用されるようなった、大学や企業向けのオンライン講座も多く行われました。動画で録画して、当日参加できなかった仲間にも学内・社内で共有する、団体でまだ活動に参加できないけれど、富士山の環境について学びたいなどの要望に応えています。富士山の環境や当クラブの取り組みについてのヒアリング対応や、学校への出張授業も行いました。

富士河口湖町国際交流プログラム「オンラインアート交流」

　2023年2月から3月にかけて、オンライントークプログラムを2回、会場での対面アートプログラムを3回実施しました。
　オンライントークでは、山梨県在住のウクライナ人の方と富士河口湖町から南アフリカの学校へ留学中の高校生をゲストスピーカーとして招き、それぞれの国の自然や文化、生活の様子をお話してもらいました。
　アートプログラムでは、ウクライナのロシア侵攻から避難し、現在は山梨大学に留学しているウクライナ大学生4人が参加、子どもたちへウクライナの絵本「てぶくろ」を読み聞かせしたり、一緒に押し花アート作品をつくり、交流を深めました。
【富士河口湖町 受託事業】

富士山のごみ持ち帰り向上キャンペーン

富士宮口登山道ごみ状況等調査

2022年度も静岡県および富士宮市からの委託事業として、富士登山シーズンに２つの取り組みを実施しました。昨年に比べコロナ禍からの回復傾向にあり登山者数も増加。現場に立たせていただくことで、ごみに関わる点はもちろん、登山者の安全面等、富士登山における問題点を垣間見たように思います。この経験を今後の取り組みや提言に活かし、より良い富士山の為の一助となるよう努めて行きたいと思います。

【静岡県富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策事業 受託事業】
【富士山富士宮口登山道ごみ状況調査等業務 受託事業】

観光客・登山者の環境意識調査

８月から９月にかけて、富士スバルライン五合目（吉田口登山道）及びふじさんパーキングで、富士山を訪れる観光客や登山者を対象に環境意識調査を実施しました。

五合目では２０１７年から継続してアンケート調査を実施、報告書にまとめ、環境省や山梨県への政策提言を実施しています。2022年は、ふじさんパーキングにて、資源循環・資源回収の視点で、下山した登山者にアンケート調査し、ごみの分別回収の実証実験を行いました。マスク、折れたストックなどの不燃物を除き、９割が資源としてリサイクル可能なもの、ごみとしてポイ捨て、放置されないしくみつくりの提言のヒントになりました。

【環境省グリーンワーカー 受託事業】
【一財）セブン-イレブン記念財団 パートナーシップ 助成金】

富士山麓のトレイルを活用した地域包括体験プログラム推進事業

富士山の眺望を眺めながら歩く、富士山周辺の山々の登山道（トレイル）は、かつては地元集落の有志や山岳会で整備されてきましたが、高齢化や人口減少で担い手確保が難しくなり、度重なる台風などの自然災害で荒れたままになっているところが多くなっています。また樹木や植物が成長し、富士山を望む景色が覆われ、ベンチや看板が破損、大量の古いごみが草場に散乱しているところもあります。

当クラブでは富士山西麓・本栖湖（富士河口湖町・身延町）エリアの登山道整備に2016年から、地元の皆さんとともにボランティア活動で取り組み始め、2022年には、地元でトレイル整備を行う７団体で「富士山麓トレイルコミュニティ」を立ち上げました。

この事業費を活用して、同コミュニティ、環境省、県、地元自治体と連携し、精進湖パノラマ台・本栖湖のトレイル整備、清掃活動(2回）を実施したほか、黒岳ハイキングやパノラマ台のハイキングツアーを開催したほか、整備のためのチェーンソー講習会（2日間）、富士山周辺登山道の状況調査（10回）を実施しました。

【環境省　国立・国定公園の利用拠点の魅力創造による地域復興推進事業費 補助金】

インターン学生受け入れ

2202年８月中旬から２か月間、立命館アジア太平洋大学修士課程学生のケルヴィアント・ションヨプトロさんを、インターンとして当クラブで受け入れました。

職員や会員から「ウェイくん」の愛称で親しまれ、清掃活動や外来種駆除活動で職員のお手伝いのほか、今後インバウンド増加が見込まれる中、富士山への外国人登山者や観光客に、どう情報を伝えるのが効果的か、ごみのポイ捨てなどごみ問題対策はどうしたらよいかなど、アンケートやインタビュー調査を行い、環境省と山梨県に政策提案報告書を提出、富士学会で調査研究を発表しました。

また東京でのイベントに参加するなど、富士山クラブ会員とも交流しました。博士課程に進み富士山での研究を続けますと話しています。

【公益信託アジア・コミュニティ・トラスト 助成金】

富士山地域にひろがるネットワーク

官民一体となった富士山の環境保全活動推進に向けて、行政との協働を進めています。山梨県では、山梨県富士山世界遺産課、自然共生推進課など、静岡県ではくらし・環境局など、両県及び周辺各市町村や関係ステークホルダーとの協働・連携を深め、活動を行っています。

【山梨県】
富士山青木ケ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会
富士山麓環境美化推進ネットワーク
山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト
河口湖アレチウリ一掃作戦実行委員会

【静岡県】
ふじさんネットワーク
富士山麓不法投棄防止ネットワーク推進会議
しずおかアダプト・ロード・プログラム
海洋プラスチックごみ防止6R県民運動

【両県】
ぐるり富士山風景街道アクションネットワーク

【全国】
ふるさと清掃運動会
全国川ごみネットワーク

富士山の日シンポジウム

富士山の世界文化遺産登録10周年を記念したフォーラム「水と緑と命を守るために私たちができること」（認定NPO法人富士山クラブ、ピーク・エイド主催、富士急行、山梨県富士河口湖町協賛、東京都港区芝会議まちづくり部会協力、毎日新聞社後援）が「富士山の日」の2023年2月23日に東京都内で開かれ、約150人が参加しました。

富士山クラブ理事長の野口健さんが、ごみ清掃員でお笑いコンビ「マシンガンズ」の滝沢秀一さんと対談。野口さんは「富士山麓でポイ捨てされたごみが問題になっている」と語り、滝沢さんは「ごみを通じて街や社会の様子が見えてくる」と訴えました。

野口さんと娘・絵子（えこ）さんの対談では、今年1月に2人で登ったヒマラヤで氷壁が以前より解けているなど温暖化が進行する状況が報告され、富士山とヒマラヤで実施中植林活動の様子も紹介されました。

富士山クラブ通信・SNS

富士山クラブ通信を年2回発行、まだまだ需要が高い紙媒体での発行を主とし、希望者にはデジタル版で配信しています。

Instagram・Facebook・Twitterは随時更新、「今日の富士山」写真、活動告知、活動リポートを投稿し、フォロワーとのコミュニケーションを行っています。

ホームページでは、活動・イベント情報と活動ブログを発信、SNSにも掲載しています。

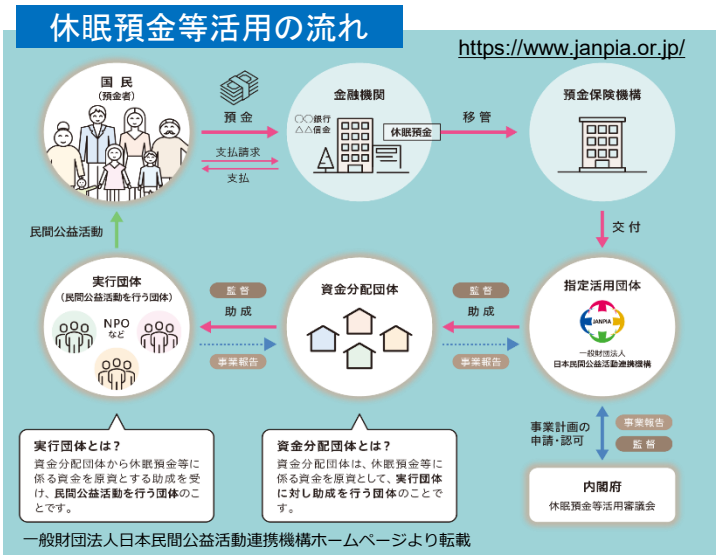
今後は、富士山クラブの組織情報や主活動を案内する固定ページの更新と充実を図り、より見やすくわかりやすいホームページ作りをめざします。

舞い上がれ
社会を変える
みんなの力
休眠預金を活用した事業です

甲信地域支援と地域資源連携事業

当クラブは長野県みらい基金とコンソーシアムを組み、資金分配団体として、休眠預金を活用した甲信地域の社会課題解決に取り組んでいます。

22年度は「甲信地域支援と地域資源連携事業」3年間助成の2年目となり、山梨3団体と長野2団体に助成金を支給する資金的支援のほか、実行団体との定期面談、基盤整備支援、アウトカム目標に向けた活動支援、環境整備の非資金的支援を継続的に実施しました。また山梨県での公益民間活動推進のため、山梨県ボランティア・NPOセンター、山梨県総合研究所とともに、NPO資金調達支援の3回連続講座を実施、県内実行団体も参加しました。



一般財団法人日本民間公益活動連携機構ホームページより転載

実行団体の活動紹介

●NPO法人河原部社（山梨県）
事業名：ニラサキサラニ～実践型若者プレイヤーズ育成プロジェクト～

韮崎市で、地域に関わり、地域を元気にする若者プレーヤーを生み出そうと、市内にワークスペースTUMを開設、県外で活動する韮崎出身者、移住者も含め、コミュニティをつくり、仲間を増やし、プロジェクトを立ち上げようと活動しています。行政と協働し、地域全体を活性化するため、韮崎市への政策提言にむけて現状把握の調査活動も行っています。

●認定NPO法人スペースふう（山梨県）
事業名：リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業

産後ママや支援が必要な子育て家庭が、孤立せずに地域とつながり、安心した子育てができるように、山梨県富士川町およびその周辺地域において、地域でとれた食材でお弁当をつくり、リユースお弁当箱で各家庭にお届け、母親たちとのコミュニケーションを通じて、必要な支援や相談につなげるなど、地域で切れ目のない支援のしくみが生まれています。

●NPO法人bond place (山梨県)
事業名：社会的処方を目指した生態系モデル構築事業

地域で、社会的処方（支援が必要な人が、分野横断的に地域や人とつながる）を実践するリンクワーカーを育成、リンクワーカーの活動やネットワークを通じて、より細かいセーフティネットがある地域づくりを目指しています。リンクワーカー育成では、第１期、第２期プログラムが終了、リンクワーカーとして地域で活動し始めています。

●NPO法人こどもの未来をかんがえる会（長野県）
（八ヶ岳山麓食のまちづくりラボコンソーシアム幹事団体）
事業名：富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト

長野県富士見町で、食をキーワードに、こどもの居場所、食事提供のほか、富士見町で地域の資源を発見、生かしていく町づくりや文化イベントを開催しています。八ヶ岳山麓の食・文化イベント、地域団体のSDGｓへの取り組みが一目でわかるヤツリンクも開発。

●一般社団法人信州上田里山文化推進協会（長野県）
事業名：別所温泉 里山アグロフォレストリープロジェクト

別所温泉の森林資源を生かし、暮らしの中で培われてきた食文化を継承し、移住者や学生を巻き込みながら、持続可能な地域づくりをめざし、地域の食材を使った商品開発、森林資源を使ったイベントを実施、コミュニティ拠点づくりに着手しています。

※写真下２枚は、各団体WEBから転載しました

活動実績一覧

活動日	団体名　活動名	活動内容	人数	清掃成果	駆除成果
2022/04/27	株式会社グローセル　新入社員研修	森づくり	16		
2022/05/18	富士山クラブ　ごみゼロAIパトロール	清掃	5	-	
2022/05/20	富士山クラブ　国道清掃①	清掃	5	68	
2022/05/22	法政大学市谷ボランティアセンター	森づくり	40		
2022/05/24	富士研修所/豊四季中学校SDGs体験活動	外来種駆除	35		23.2
2022/05/24	富士研修所/豊四季中学校SDGs体験活動	清掃	31	一括処分	
2022/05/24	亜細亜大学国際関係学部　体験から学ぶ地球環境論	講演・WS	88		
2022/05/29	亜細亜大学国際関係学部　体験から学ぶ地球環境論	清掃	87	450	
2022/05/29	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦1	外来種駆除・清掃	25	24.8	6.6
2022/06/03	ワタキューグループ	清掃	91	510	
2022/06/04	富士山クラブ　国道清掃②	清掃	7	90.3	
2022/06/08	富士河口湖高校　富士山講義	講演・WS	30		
2022/06/09	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦2	外来種駆除・清掃	4	7.9	3.7
2022/06/11	アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社	清掃	30	120	
2022/06/14	日本工営株式会社	講演・WS	88		
2022/06/17	横浜市立箕輪小学校5年　環境学習プログラム	トレッキング	76		
2022/06/18	富士山クラブ　定例清掃①	清掃	29	一括処分	
2022/06/25	環境省富士五湖管理官事務所　山の日環境教育プログラム富士北麓	トレッキング	20		
2022/06/26	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦3	外来種駆除・清掃	10	10.6	15.1
2022/06/30	富士山クラブ　国道清掃③	清掃	5	88.2	
2022/07/02	富士山クラブ　定例清掃②国道清掃④	清掃	18	53.7	
2022/07/07	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦4	外来種駆除・清掃	5	2.5	7.6
2022/07/23	富士川清掃in山梨 ラフティング＆クリーンナップ	環境教育・清掃	13	70	
2022/07/31	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦5	外来種駆除・清掃	16	1.3	65.8
2022/08/01	東洋大学	講演・WS	40		
2022/08/1-5	早稲田大学レジデンスセンター　WISH SIプログラム富士山研修	環境教育	9	5	7.5
2022/08/25	富士山科学研究所　富士山五合目外来植物防除活動	外来種駆除	21		28.9
2022/08/28	都留文科大学４年生	ヒアリング対応	1		
2022/09/05	東洋大学	清掃	35	95	
2022/09/09	西松建設株式会社　生物多様性保全活動	トレッキング・外来種駆除	21		105
2022/09/10	丸紅株式会社	外来種駆除	47		237.1
2022/09/17	PGU山梨・長野地区懇	清掃	33	一括処分	
2022/09/29	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦7	外来種駆除	5		58.5
2022/09/29	プリモ・ジャパン株式会社	森づくり	13		
2022/10/05	株式会社静鉄ストア	清掃	16	90	
2022/10/11	法政大学市ヶ谷ボランティアセンター	講演・WS	60		
2022/10/12	富士吉田高校2年　富士山学	ヒアリング対応	3		
2022/10/13	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦8	外来種駆除	5		14.2
2022/10/15	一周清掃実行委員会　ぐるり富士山風景街道一周清掃2022	清掃	77	340	
2022/10/20	一般社団法人日本リユース業協会	清掃	171	330	
2022/10/23	富士山クラブ　河口湖アレチウリ一掃作戦9	外来種駆除	14		60.6
2022/10/23	法政大学市ヶ谷ボランティアセンター	森づくり	38		
2022/10/26	富士河口湖高校　富士山講義	講演・WS	28		
2022/10/29	文化シヤッター株式会社	清掃	30	一括処分	
2022/10/29	一般財団法人セブン-イレブン記念財団＆静岡県　６Ｒ海岸清掃	清掃	140	120	
2022/11/4-5	富士山クラブ　富士山ビュー黒岳ハイキング・文化体験ツアー	トレッキング	5		
2022/11/05	日本におけるダイムラーグループ	清掃	100	220	
2022/11/12	アビームコンサルティング株式会社	清掃	47	300	
2022/11/19	毎日新聞社　毎日旅行　野口健さん清掃ツアー	清掃	20	137.3	
2022/11/19	富士山クラブ　富士山山麓トレイル整備活動①	トレイル整備・清掃	24	30.5	
2022/12/03	J.P.モルガン証券	清掃・森づくり	31	200	
2022/12/10	富士山クラブ　定例清掃③	清掃	11	一括処分	
2022/12/10	富士宮市花と緑と水の課　富士宮市自然観察会	トレッキング	12		
2022/12/17	富士山クラブ　富士山山麓トレイル整備活動②	トレイル整備・清掃	29	41.2	
2022/12/20	富士山クラブ　トレッキングツアー	トレッキング	12		
2023/01/29	富士山クラブ　森林体験イベント	森づくり	10		
2023/02/04	アルムメディカルサポート株式会社	清掃	24	200	
2023/02/18	アサヒ飲料株式会社富士山工場	森づくり	39		
2022/12/16	焼間地区ごみ処分	清掃	-	6250	
2022/02/23	富士山クラブ/ピークエイド　富士山の日フォーラム	交流	150		
2022/02/23	富士河口湖町　国際交流オンライントーク	交流	14		
2022/02/25	富士河口湖町　国際交流オンライントーク	交流	20		
2022/02/25	富士河口湖町　国際交流アートプログラム	交流	25		
2022/03/18	富士河口湖町　国際交流アートプログラム	交流	31		
			2185人	9856.3kg	633.8kg

助成金

一般財団法人セブン-イレブン記念財団（パートナーシップ助成）
COSMOエコ基金事務局（富士山の森を守るプロジェクト）
一般社団法人関東地域づくり協会（ぐるり富士山風景街道一周清掃）
公益財団法人粟井英朗環境財団（ごみゼロAIエコパトロール）
公益信託アジア・コミュニティ・トラスト（アジア留学生インターン受入）
一般財団法人民間公益活動連携機構（休眠預金等活用事業）

補助金

山梨県（富士山クリーンアップ事業費補助金、特定外来生物防除事業費補助金）
静岡県（ふじさんネットワーク補助金）
環境省/一般財団法人環境イノベーション情報機構
（国立・国定公園への誘客の推進事業及び国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進事業費補助金）

その他

静岡県（ふじさんネットワーク　環境保全活動応援金）

協賛金

株式会社毎日新聞社（富士山クラブ活動報告書、富士山クラブ通信）
富士急行株式会社（ぐるり富士山風景街道一周清掃、富士山の日フォーラム）
富士河口湖町（富士山の日フォーラム）

寄附金

アプライド・マテリアルズジャパン株式会社（活動全般）
株式会社丸紅フットウェア（活動全般）
JPモルガン証券株式会社（森づくり）
アビーム健康保険組合（活動全般）
有限会社T.M.WORKS（活動全般）
マックスバリュ東海株式会社　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（活動全般）
林製紙株式会社（環境保全）
イオンスタイル甲府昭和　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（活動全般）
認定NPO法人さわやか青少年センター
OneOneOne事務局
ニチレイマグネット株式会社

水と緑と命の基金

お食事処大豊、みはらし亭、株式会社ツチヤ、ハイランドリゾート株式会社
株式会社凛花、有限会社富士山みはらし、有限会社山中湖ガーデン
河口湖ジェットビレッジ、みしまプラザホテル、富士レークホテル
プレステージ株式会社、もりの学校募金箱　　他個人から49件

（敬称略）

富士山クラブの各活動を通じて、みんなでSDGｓの達成を目指そう！

6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。

11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
11.6 2030年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。

15.5 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。
15.8 2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。

17.16 すべての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。
17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

富士山クラブ 本部・もりの学校

〒401-0332
山梨県南都留郡富士河口湖町西湖2870
TEL：0555-20-4600

富士山クラブ 静岡事務所

〒418-0111
静岡県富士宮市山宮3645-116
TEL&FAX ：0544-58-9120

富士山クラブ　検索